【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年3月16日(2022.3.16)

【国際公開番号】WO2019/175814
【公表番号】特表2021-515662(P2021-515662A)
【公表日】令和3年6月24日(2021.6.24)
【出願番号】特願2020-548915(P2020-548915)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ16/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ 16/06 Ｂ
Ａ６１Ｍ 16/06 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月8日(2022.3.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
呼吸マスク用ヘッドギアであって、
フィラメントを備える少なくとも１本のストラップと、
前記フィラメントに関して係合形態及び解除形態を有する方向性ロックと、
前記ロックを前記解除形態で保持するように動作可能な解除部材と、
を備えるヘッドギア。
【請求項２】
前記解除部材に前記ロックを前記解除形態で保持させるように前記解除部材に作用するように構成されたアクチュエータをさらに備える、請求項１に記載のヘッドギア。
【請求項３】
前記アクチュエータが、前記解除部材に作用するように選択的に動作可能である、請求項２に記載のヘッドギア。
【請求項４】
前記アクチュエータが、可動バー又はボタン及びハンドルのうちの１つに結合されている、請求項３に記載のヘッドギア。
【請求項５】
前記アクチュエータが、使用者が前記使用者の顔面からマスクを引き離すときに前記解除部材に自動的に作用するように構成されている、請求項２に記載のヘッドギア。
【請求項６】
前記アクチュエータが、前記少なくとも１本のストラップに結合され且つ前記呼吸マスクに対して移動可能であるように構成されたアームを備える、請求項５に記載のヘッドギア。
【請求項７】
前記解除部材が、通常は、前記ロックをその解除形態で保持しないように付勢されている、請求項１～６のいずれか一項に記載のヘッドギア。
【請求項８】
前記少なくとも１本のストラップが、第１ストラップ部分及び第２ストラップ部分を備え、前記フィラメントが、前記第１ストラップ部分及び前記第２ストラップ部分のうちの一

方に取り付けられ、前記第１ストラップ部分及び前記第２ストラップ部分が、前記少なくとも１本のストラップの長さを変更するように互いに対して移動可能である、請求項１～７のいずれか一項に記載のヘッドギア。
【請求項９】
前記少なくとも１本のストラップが、前記ヘッドギアの頭部係合部分とマスク係合部分との間で延在している、請求項１～８のいずれか一項に記載のヘッドギア。
【請求項１０】
請求項１～９のいずれか一項に記載のヘッドギアを備えるマスクアセンブリであって、
フレームと、
ハウジング及びシールを備えるクッションモジュールと、
を備えるマスク
を備え、
前記マスクが、前記クッションモジュールを前記フレームに接続するように構成された接続構成を備え、前記接続構成が、前記クッションモジュール及び前記フレームのうちの一方に位置する少なくとも１つの突起と、前記クッションモジュール及び前記フレームのうちの他方に位置する少なくとも１つの凹部とを備え、前記少なくとも１つの突起が、前記クッションモジュールを前記フレームに固定するように前記少なくとも１つの凹部と係合するように構成されている、マスクアセンブリ。
【請求項１１】
前記クッションモジュールが、前記フレームのカラーを受け入れる開口部を画定する円筒状壁を備える、請求項１０に記載のマスクアセンブリ。
【請求項１２】
前記ヘッドギアが、前記ヘッドギアを前記マスクに接続するように構成されたヨークを備える、請求項１０～１１のいずれか一項に記載のマスクアセンブリ。
【請求項１３】
前記ヨークが、中心部分と、前記中心部分から延在する少なくとも１つのアームとを備え、前記少なくとも１つのアームが、前記ヘッドギアの少なくとも１本のストラップに接続するように構成されている、請求項１２に記載のマスクアセンブリ。
【請求項１４】
前記フレームがリップを備え、前記ヨークが、前記ヨークを前記フレームに固定するように前記リップと選択的に係合するように構成された少なくとも１つのフック状接続フィンガを備える、請求項１３に記載のマスクアセンブリ。
【請求項１５】
前記リップが、前記フレームの周辺部に沿って延在している、請求項１４に記載のマスクアセンブリ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０６】
使用者が、ヨーク２０２又はマスクを把持する過程において解除要素２０４４を作動させ、したがって、１つ又は複数の解除可能ロック（たとえば、解除可能ロック２０４８ａ、２０４８ｂ）の解放を直観的にトリガすることができるように、解除要素２０４４がヨーク２０２に対して位置決めされる、他の構成が可能である。たとえば、一対の対向する解除要素２０４４を、使用者が、要素２０４４を互いに向かって（たとえば、図に示す向きに対して水平、垂直又は他の方向において）押し込むことができるように、位置決めすることができる。こうした構成では、各解除要素２０４４は、１つ又は複数の解除可能ロック（たとえば、２０４８ａ、２０４８ｂ）を動作させることができる。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２３】
いくつかの構成では、ヘッドギア係合特徴部２０８４は、ヘッドギアストラップ２０８と解除アーム２０６０との間に取外し可能な接続を提供する。他の構成では、ヘッドギア係合特徴部２０８４とヘッドギア２００との接続は、たとえば、ヘッドギア係合特徴部２０８４及びヘッドギアストラップ２０８を（たとえば、シリコーンゴムを用いて）オーバーモールドすることによって、永久的にすることができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２５】
外側部分は、ヨーク２０２の対応するピボット２０６２を中心に枢動するように構成されており、選択的に係合部分２０５５ａと接触し（図６９及び図７０）解除部材２０５３を移動させるように構成されている係合面２０８８を含む。したがって、図示する構成では、ピボット接続部２０８３の外側部分は、内側部分と比較して対応するピボット２０６２の周縁部のより小さい部分を包囲する。さらに、外側部分は、内側部分と比較してピボット２０６２を包囲するより少ない材料を有する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２８】
有利には、解除アーム２０６０は、解除アーム２０６０が延在する使用者の頭部の形状、及び／又は対応するストラップ２０８若しくはヘッドギア２００の他の部分の所望の経路に対応する形状であり得る。図示する構成では、解除アーム２０６０の（たとえば、ヘッドギア係合特徴部２０８４を含む）後方部分は、（たとえば、ピボット接続部２０８３を含む）前方部分と比較して内向きにわずかに曲がり又は湾曲して、使用者の顔面の予期される曲率及び／又はヘッドギアストラップ２０８の所望の経路に追従する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３５】
接続特徴部７６１２ａ、７６１２ｂ、７６１２ｃ、７６１２ｄの各々は、ヨーク２０２のアーム２２０４のうちの１つに関連付けられる。特に、接続特徴部７６１２ａ、７６１２ｂ、７６１２ｃ、７６１２ｄの各々は、アーム２２０４と中心部分２２０２との接合部で又はその近くで関連するアーム２２０４の基部に又はそれに隣接して位置する。こうした構成により、ヨーク２０２がフレーム２０３０に組み付けられたときに接続特徴部７６１２ａ、７６１２ｂ、７６１２ｃ、７６１２ｄが隠され、清潔な且つ魅力的な外観が提供される。他の構成では、接続特徴部７６１２の他の部材を設けることができる。たとえば、１つ、２つ、３つ、５つ、６つ又はそれより多くの接続特徴部７６１２を設けることができる。接続特徴部７６１２は、中心部分２２０２の周縁部に半径方向構成で配置することができる。接続特徴部７６１２ａ、７６１２ｂ、７６１２ｃ、７６１２ｄは、たとえば、

ポリプロピレン、高密度ポリエチレン又はポリカーボネート等、弾性変形する材料で作製した後部品２０４６と一体的であり得る。